

最優秀賞

t v k 賞

声をかける？

相模原市立上溝南小学校（中央区）

五年 峠 芳道

「福祉ってなんだろう。」

ぼくは福祉のことをよく知りませんでした。調べてみると、福祉とはすべての人の幸福やいっしょに生きていこうと考えることと書いてありました。

この夏休み、ぼくは父とお使いに行きました。店内に入ると、赤ちゃんを抱っこしながら買い物をしているお母さんがいました。ぼくが会計を終えて店を出ようとしたり、さっきのお母さんがエコバッグいっぱい荷物を持ちながらカートの片づけをしようとしていました。一声かけて代わりにカートの片づけをしました。店を出ると、階段があったのでエコバッグを父といっしょに持ってあげました。

「ありがとうございます。」

と、笑顔で言ってもらえました。その言葉を聞いて「お手伝いしてよかった。」と、さすがらしい気持ちになりました。家に帰って家族とその話をしている時、少し気になることがあります。コロナウイルスが流行している今、他の人に自分の荷物をさわられたくないと考えている人がいるかもしれないことです。ほくは困っている人を見かけたら知らん顔はできません。けれど今は手伝いを断わられることもあるかもしれない。そう考えると少し気が重くなりそうです。すべての人の幸福やいっしょに生きていこうと考えること。それが福祉です。ほくは、結果がどうであつても声をかけたいです。ふり返つてみると、ほくも助けてもらつたり支えてもらつたりしています。相手の声に耳をかたむけて、何が必要なのか考えていきたいです。

「なにか手伝うことはありませんか。」

ほくならこう声をかけます。できる時にできる人が行動する。これがほくの思う福祉です。